ミブリ〳〵昂奮して叫んでゐた

馬鹿にする程がある

會社は頑固一點張りだ 委員側憤慨

右に就き交渉委員中、土井の兩名は語る

「頑固一點張り實に血も涙も無い遣り口で人を馬鹿にするにも程がある現に我々の持つて來た要求書は總本店は電線所と別の會社だからといつて受取らないまう斯うなつたら最後まで戰ひ續ける外はない」

總本店無關係

中田理事談

電線工の實行委員が持ち込んだ要求書を總本店では筋が違ふと云ふので受理しなかつたが之に就き中田理事は語る

「住友總本店は合資會社であつて他の法人たる住友關係事業の一部分に起りたる事に就ては一切關係がありません從つて電線工場も亦同樣で其處に起つた事は其所で解決せらるべきものであり同所の職工迄が總本店を訪問してもどうする事も出來ない」

協調會の添田博士 來阪して調停を試む

調停案は工場委員制度案 藤永田幹部も之に傾く

來阪中の協調會幹事添田博士は十七日午後七時新炭屋町なる藤永田造船所に到り前野芳造氏と會見し鈴木友愛會長賀川豐彦氏及武藤課長等と協定した工場委員制度案を提出し爭議の調停に就き長時間協議をしたが十八日午前十時には武藤氏が同所を訪問し永田三十郎氏邸で前野氏等と會見した目下の所では同所側でこの制度案を容認するか然もなければ成行に打ち任して捨て置くか兩つの外に解決の道は無いが同所では右の制度案に對し意を動かしてゐるのは否定出來ぬ之に就き前野芳造氏は語る

「協調會の添田武藤兩氏がいろ〳〵調停につき御配慮下さることは誠に有難い次第で感謝してゐるのです私も大體に於て同案には贊成してゐます、併しあれを其儘適用することは出來ませんよし同社にして夫に從ひ爭議は圓滿に解決したとして會社としては直に職工全部を復職せしめることは出來ません犠牲者を出さないと云ふ一事に就ては會社として餘程考慮を要する問題でよし一度圓滿な解決が出來ても若し不良分子が其中に含まれてゐる時は又々他に同樣の問題を惹起される惧がありますので此邊のことについては實際的に考究論議したいものです」

大電勞働委員

大阪電燈會社勞働調査委員選擧は十七日投票十八日正午開票したるが其の結果、日出發電所助手一名職工一名電業員組合員助手一名職工一名天滿變電所職工一名本社助手一名計五名の調査委員が選定されたので近く同社の勞働問題につき會社側委員と審議する筈

泉尾支部長に求刑二ヶ月

去る五月二十九日午後七時頃西區九條通四丁目說教所で開かれた川崎造船所勞働爭議批判演說會で過激の言辭を吐いたゝめ治安警察法違反として起訴された友愛會泉尾支部長なる西區三軒家上之町一七三藤永田造船所志津分工場詰勤道具方職工補綱駒吉(三二)の公判は十八日當區裁判所で田川判事中塚檢事の係り絲方辯護士列席にて開廷され友愛會員二十數名の傍聽あり三田川判事は被告の住所氏名を取調の上直に傍聽を禁止し午後一時終了したが檢事は懲役二ヶ月を求刑し來る二十一日判決言渡しある筈

前野氏夫人負傷しながら

襲撃の模樣を詳しく語る

襲撃を受けた前野芳造氏の夫人政子は語る

「主人は丁度藤永田の方へ出掛けて居まして不在でしたので宅には妾と神戸高商へ通ふて居る悴の不二夫と下女三人下男一人とが居ました處が七時半頃大きな聲で多人數の職工が宅の前を通りました、それから凡そ二三十分程經つて復その人達が宅の前へやつて來まして盛んに石を家の中へ投げ込み危險で仕樣がありませんので私等は皆二階へ避難して居ました其の中に窓など大分毀されました警官隊が警戒して居て下さいました隊と職工との大格鬪が始まつて大騒ぎになりましたが凡そ二三十分間も繼續すると其の騒ぎも靜まりましたが一時はどうなる事かと非常に心配しました私も石が一つ中つて負傷しました双方共負傷者が大分あつた樣で初めは宅へ擔ぎ込まれましたがそれから附近の醫者の家へ運んで行きました」云々

モスリン浴衣地陳列會
六月廿四日
均一友仙賣出日
於 紫店
伊藤萬商店
大阪安土町

新聞 月 日

新聞 月 日

新聞 月 日

新聞 月 日